

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	大川内地区(小石原集落)	令和3年11月11日	/

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	15.9ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	15.9ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	8.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考) 地区内の耕地面積15.9haのうち、中山間地域等直接支払制度における協定農用地が7.7haあり、中山間と平坦部の農地(団地)を有する地区である。	

2 対象地区の課題

○地区内の70歳以上の農業者の耕地面積8.2haについては、後継者がいるという回答があり、今後も耕作が継続されると見込まれるが、特に山間部の農地については、維持管理を行うにも多大な労力がかかることから、農地のゾーニングなどの検討が必要である。 ○地区内の中心経営体では、これ以上の農地の集約化を図ることができないため、集落内または集落外からの担い手の確保を図る取り組みが必要である。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

【集落内外で担い手を育成・確保】 現在、中心経営体が1組織あるが、新たな農地の引き受け意向が確認できないため、現状以上の農地集約は困難であることから、集落内で円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し、耕作を継続していく。 もし、担い手が不足する場合は、集落内の農家やこれまで以上に外部からの担い手の受け入れを検討することで対応していく。
--

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 1	大麦、大豆	7ha	大麦、大豆	7ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【林地化の検討】

維持管理が困難になると見込まれる山間部の農地について、計画的に林地化を検討する。ただし、農道の維持管理はこれまで同様、適正に管理を行う。

【鳥獣被害防止対策の実施】

近年、中山間地域を中心にイノシシ等の被害が増加しているため、既設の防護柵の定期点検や地区内の地図を活用して新たな被害発生場所を特定し、新規設置等の検討を行う。

【中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金制度の活用方針】

当該交付金を今後も積極的に活用し、農地・水路・農道などの維持管理を図る。